

干瀬節（ふしぶし）

一揚

二揚

四	中	工	五		七	四	中	工	五	さとう		五	中	五	七	とう
---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	-----	--	---	---	---	---	----

五	七、	五	七	八		工	中、	四	四	中、	工	中、					
	(み))	ば									

五	七	工	中、	五、	六	工	上	四		四	上	工	四				
	ぬ		(ゆ)			で)	よ			井			

四	四	中、	工	中、	四	四	四	中、	工	中、	五	七	工	中、	五、	六			
		(や)						で	い								い	ゆ	み

工	上	四		四	中	工	五		五	中	五	七							
	(う)	や)	どう			ふ	ゆ		ぬ							

五	七、	五	七	八		工	中、	四	四	中、	工	中							
	(ゆ))	ぬ											

五	七	工	中、	五、	六	工	上	四		四	上	工	四						
	ゆ		(し)			が)	よ									た

四	四	中、	工	中、	四	四	四	中、	工	中、	五	七	工	中、	五、	六				
		(げ)							に										か	た

工	上	四		四	中	工	五													
	(や)	び)	ら														

一、里と思はのよでいやで
云ゆめお宿冬の夜の
夜すが互いに語やべら

二、干瀬に居る鳥や
満潮恨みゆい我身や
暁の鶏ど恨む

三、情有てかくせ野辺の花すすき
二人が玉の緒の
惜しさ有らば